



仙台市議会議員 青葉区

伊藤ゆうた

発行人

市民と未来のために

仙台市政報告

こどもの命を守る

いじめ解決に市役所が積極介入
仙台市でも「寝屋川モデル」の実現を!



▲寝屋川市長 広瀬 慶輔氏にお話を伺う

大阪府寝屋川市へ調査研究の為に視察を行いました。そこでいじめ問題へ新たなアプローチで取り組んでいる広瀬慶輔市長に「寝屋川モデル」についてご教授頂きました。

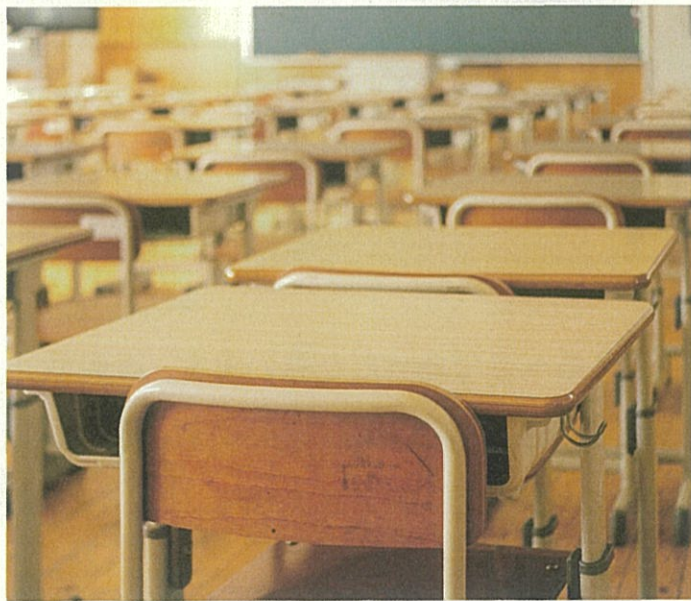
「教育的アプローチの限界」という仮説のもと、いじめ問題を学校任せにせず初期段階から行政が積極介入する常設の監察課を設置し早期解決に繋がっています。仙台市においても解決まで長期間経過をするいじめや不適切指導事案が後を絶ちません。仙台市でも「寝屋川モデル」のように積極的に第三者的な調査、解決が行われる仕組みを構築していく必要があります。

令和3年度決算に、たった1人で反対しました

～仙台市のいじめ、不適切指導事案が解決していません～

これまでいじめや教諭による不適切指導の被害にあった児童、生徒、保護者のお話を伺ってきました。学校や教育委員会がなぜ適切な対応をしないのか憤りを持っています。

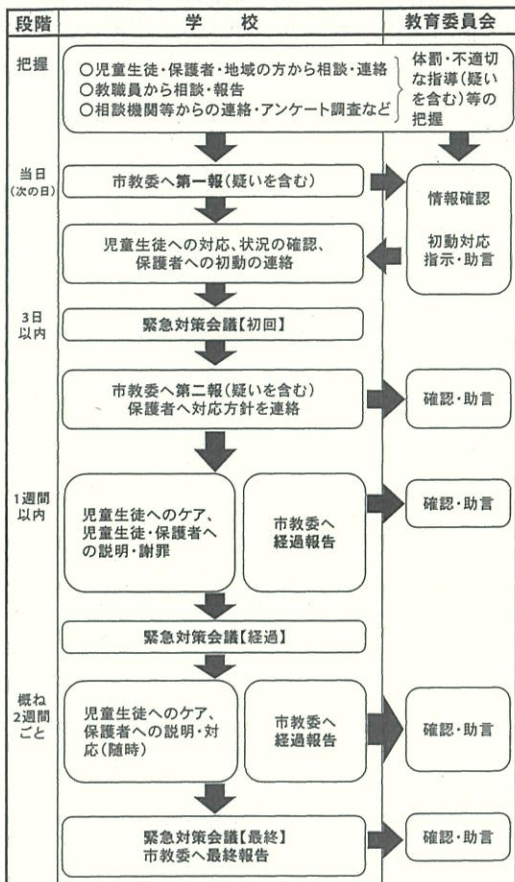
たった1人ですが、令和3年度決算について決算認定について反対するという判断をしました。いじめ事案、不適切指導等の事案が複数認知されたにも関わらず令和4年第3回定例会の中で確定的に再発防止策が示されることは、ついにありませんでした。初動対応の瑕疵や、対応課程でも適切ではない対応も数多くありました。いじめ事案や、不適切指導等の事案の解決に至っていない事を考えれば賛成できるものではありません。



提言実現

教諭による不適切な指導事案の初動対応が改善へ!

体罰・不適切な指導等が発生した場合(疑いを含む)



仙台市立学校の教諭による不適切な指導事案が続いています。この間の事案が未だ解決に至っていない原因のひとつは、初動対応の失敗です。

いじめ事案にはある初動対応フローが不適切な指導事案には存在しませんでした。初動対応フローが必要だと繰り返し議会で提言してきましたが、令和4年第4回定例会で教育長から初動対応フローを作成し学校に通知された事が答弁されました。生徒、保護者が勇気を出して声をあげて頂いた結果です。引き続き、事案解決に力を尽くすことはもちろんですが、今回の初動対応フローが実効性あるものになるよう引き続き取り組みます。

漂流する仙台市政 ～5000万の損失は市民負担に～



▲ 2022年12月22日ミヤギテレビ放送分より引用

令和4年第4回定例会では、事務手続きのミスから生じた約5000万円の追徴課税を市の一般財源から捻出するための補正予算について活発な議論がありました。郡市長は最高責任者として2期目の退職金辞退、一定期間の全額給与カット等、市民の税金で補填するのは理解が出来ないという市民の当たり前の感覚に対して政治的態度

で応えるべきであったと思います。再発防止策等、積極的に議論を行いました。

実際は、4月以降の期末手当引き上げ案と、50%給与減額3カ月という中途半端な対応に終始。とても賛成できません。どこに仙台市政は向かっていくのでしょうか。

詳しい一般質問や質疑は

仙台市議会インターネット議会中継

検索

発行会派 市民と未来のために 市議会会派室
 仙台市青葉区国分町3-7-1 mail: info@itoyuta.com
 090-7566-5159 (伊藤優大直通)